

## 情報通信産業の動向

講師：海野 忍



### 1. 講義内容

2023年12月12日に、オンラインWeb会議を通して専修大学にて講義を行った。

タイトルは、「情報通信産業の動向」とし、「NTTグループの現状」、「情報通信サービスの状況」、「新技術の動向」などについてお話をさせていただきました。最後に、「技術とマネジメントの関係」について講師の私見を述べさせていただきました。

まず「NTTグループの現状」では、NTTグループの規模、世界の中での位置づけ等について説明した後、通信自由化に伴ってこの分野に新規参入し成功したのは、必ずしも通信に近い分野ではないプレイヤーであったことから、起業家精神がいかに大切かを説明した。

続く「情報通信サービスの状況」では、コロナ禍によりネットワーク需要が急激に伸びたことを示し、にも関わらず日本における情報化投資が米国に比べいかに少ないかを示した。基本的に日本の企業家がICTの真の力を理解していないことが原因との指摘をした。

「新技術の動向」では、クラウドが発展した背景とその適用範囲を示し、これに関連したセキュリティ問題にも言及した。エネルギー問題についてはその必要性を説き、NTTグループでの努力を紹介した。AIは最も興味を持っていただけたテーマだったが、学生たちの吸収速度の速さに驚くとともに正しい利用方法を示す重要性も感じたところである。DXについてはICTの専門家だけでは実現できないことを示し、当該分野の専門家との協業が欠かせないことを訴えた。最後にNTTの新技術であるIOWNについて概要を説明した。

「技術とマネジメントの関係」では、技術を過信することは危険であり、本当に世の中を良くするためには、多面的・総合的な考え方が必要であることを説いた。

### 2. 質問、感想等

講義中、並びに終了時には、9件の質問がチャットで寄せられたが、社会に出て仕事をする際に気を付けるべきことといった将来に関する質問が5件、技術に関する質問が4件あり、就職についての関心の高さが伺えた。部下とのコミュニケーションの取り方や、講師の入社動機など、社会に出るにあたっての現実的な質問が飛び出し、仕事への興味の強さが伺えた。

講義がオンラインであり、聴衆の顔がみえず反応が分からないため、小生にとっては不安が残る自信が持にくい講義であったが、講義に寄せられた171件に及ぶ感想、疑問等を拝見すると、個々の学生がそれぞれ異なる部分に興味を持ち、その部分を的確に理解してくれていることが分かって安心した。

就職活動が盛んな中で社会人の話を聞くことの重要性を改めて認識させていただくことができたと共に、個々の学生が各々の個性を持ち、大勢に流されることなく自分の進むべき道を模索している姿が垣間見え、頼もしく感じられた。

### 3. 講師感想

専修大学は基本的には文系の大学であり、理系志望の学生はいないが、就職先として情報通信系を考えている方は少なからず存在し、卒業後の方向性を決める上でたいへん参考になったとの声が多くきかれた。また、ネットワーク情報学部の中でコンテンツデザインやメディアコミュニケーションを選考している学生にとって、昨今の重要なツールとしてAI活用について学んでおり、この分野への興味はたいへん強いものがあった。

このようなことから、今回のSTAMPから派遣された3名の講師による一連の講義は、学生にとっても意義深いものになったのではないかと感じている。

改めて、良い機会を与えて下さった専修大学の関係者の皆様に、深く感謝の意を表する次第である。